

# 授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)  保育の心理学	授業の種類  (講義・演習・実習)	授業担当者  鈴木 崇弘	当該科目に関する実務経験  学校カウンセラー 臨床心理士
		伊藤 彩	幼稚園教諭
授業の回数  15 回	時間数 (単位数)  30 時間 (2 単位)	配当学年・時期  1 年・前期	必修・選択  必修
[授業の目的・ねらい] <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達過程や精神保健等、保育の対象理解における子どもの心理的側面の重要性を理解する。</li> <li>子どもの心理的な発達や学びの過程など、子どもの心理的な側面の理解に関する知識を習得する。</li> </ul> [授業全体の内容の概要] <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心身両面の健康の意義を基礎とし、保育実践に要する発達理論の知識及び、心理学的知識等、保育に要する専門的知識を習得する。</li> </ul> [授業終了時の達成課題 (到達目標)] <ul style="list-style-type: none"> <li>保育実践に関わる発達理論等の心理的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解できる。</li> <li>子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解ができる。</li> <li>乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義が理解できる。</li> </ul>			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. 子どもの福祉と保育の心理学 子ども観の変遷と子どもの福祉① 2. 子どもの福祉と保育の心理学 子ども観の変遷と子どもの福祉② 3. 子どもの福祉と保育の心理学 子どもの発達と家庭・地域における保育 4. 子どもの福祉と保育の心理学 子どもの発達支援と施設における保育 5. 多様な側面における子どもの発達 発達と環境との関係① 6. 多様な側面における子どもの発達 発達と環境との関係② 7. 多様な側面における子どもの発達 感情・自己意識の発達 8. 多様な側面における子どもの発達 身体・運動機能の発達 9. 多様な側面における子どもの発達 知覚・認知の発達① 10. 多様な側面における子どもの発達 知覚・認知の発達② 11. 多様な側面における子どもの発達 言語・コミュニケーションの発達 12. 生涯発達を見据えた発達支援 乳児期 (0～1 歳) の発達課題と支援 13. 生涯発達を見据えた発達支援 幼児前期 (1～3 歳) の発達課題と支援 14. 生涯発達を見据えた発達支援 幼児後期 (4～6 歳) の発達課題と支援 15. 期末試験			
[使用テキスト・参考文献] MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 7 保育の心理学 (伊藤 篤 編著/ミネルヴァ書房)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考查点 (75%)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。</li> </ul> </li> <li>・ 平常点 (25%)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。</li> <li>・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>			

